



1月20日(月)～1月24日(金)
 いばらきしがっこうきゅうしょくしゅうかん
 茨木市学校給食週間

1月20日(月)～1月24日(金)は、学校給食週間です。給食について考え、日ごろから給食にたずさわっている人々の苦勞を知り、感謝の気持ちをあらわす週間です。

がっこうきゅうしょく
 ～学校給食のはじまり～

めいじ 22 ねん
 (1889年)



やまがたけんつるおかし ちゅうあいしょうがっこう べんとう も
 山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持ってこることが
 できない子どもたちのために、おにぎり、焼き魚、つけもの
 といった簡単なものをお昼ご飯に出したことが学校給食の
 はじまりだそうです。



つるおかし だいとくじ てら
 鶴岡市の「大督寺」いうお寺には、
 「学校給食の発祥の地」とかかれた
 せきひ
 石碑があります。

がっこうきゅうしょく れき し
 ～学校給食の歴史～

しょうわ 22 ねん
 (1947年)



せんそう だいにじせかいたいせん
 戦争(第二次世界大戦)に
 より、一時中止していた給
 食が始まりました。脱脂粉
 乳は、牛乳から脂肪分を
 ぬき、乾燥させて粉にしたも
 のです。お湯で溶かして飲ん
 でいました。

しょうわ 27 ねん
 (1952年)



ぜんこく
 全国にパン、ミルク、おか
 ずがそろった完全給食が
 広がっていきました。手に入
 りやすいくじら肉がよく食
 べられていました。食器は、
 アルマイトの食器でした。

いま きゅうしょく
 今の給食



えいよう
 栄養バランスがよくなり、
 季節の食材を使用した
 料理、郷土料理、世界の料
 理などさまざまな献立が取
 り入れられています。